

つるかめ 通信 2月号

2022.02.01 発行



アワビつづ大漁の巻

作: ひろな



陸前高田の漁師さんから大量のアワビつづをいただきました。



だ液腺には「テトラミン」という有毒成分が含まれています。



毒を取るために貝から身をくりぬく工程



アワビつづのバター炒め、とっても美味しかった！
今度はカレーにしてみたいと思います！

少しだけ日も長くなり春までもう少し！というところですが、鶴亀食堂は床下工事中でおやすみです。唐桑出身の若手の大工さんが丁寧に工事を進めてくれていて、完成が楽しみです！

昨年末に遠洋船の船頭さんが朝ご飯を食べに来てくださり、「今から試運転で久々に船を動かすんだ」「やっぱり船に乗るのは楽しい、ワクワクする」って嬉しそうに教えてくれました。何年もほとんどを船の上で生活していても、船での仕事や生活することを楽しみにしてるなんて「くう〜かっこいいー！素敵過ぎるー！」と心の中で叫びました(笑)わたしなんかはきっと長期におやすみしてしまうと、「明日から仕事か〜」と憂鬱になってしまうだろうなあ…(笑)
船頭さん読んでくれているのかな〜？直接お話が聞けて嬉しかったです☆
また帰ってらしたらいろんなエピソード聞かせてください〜！(さちを)

全国的にコロナの第6波に突入し、気仙沼でも10人前後の感染者が出るなど、油断できない状況です。私も年末年始の帰省から帰ってきてからはお家でのんびりと過ごしています。今までシェアメイトとは仕事やそれぞれの予定もあり、一緒の家に住んでいても1日会わない時もありました。でも最近ではみんなお家にいるのでリビングに集まって一緒にご飯を食べたり、テレビを見たりしています。今のブームは「カタン」というボードゲーム！簡単にいうと陣取り合戦でポイントを競い合う開拓ゲームで、時間を忘れて夜中までやってしまうほどハマっています(笑)頭を使ったり会話したりしながら進めていくのでとてもおもしろいですよ〜(^^)
あ、そういえばこの間お休みの日にみんなでたこ焼きをしたのですが、「たこ焼きにキャベツを入れるのか？」という議論に・・・！私は小さい頃から実家でたこ焼きをする時はキャベツを入れていました。関西出身の子は「たこ焼きにキャベツは入れないでしょ！」と。みなさんはどうですか？たこ焼きにキャベツを入れる派？入れない派？教えてくださいーい♪(みどり)

毎日操業お疲れさまです。毎月1日には皆様のお手元に配信できるようにと思っはいるのですが、中々筆が進まず…いつも遅くなり本当に申し訳ございません。楽しいネタを書こうと思っているのですが今月も結局コロナニュースに負けそうです。すーっと感染者が下火だった気仙沼ですが、1月20日にオミクロン感染の情報がでてからあれよあれよと増えまして本日日本国内新規感染者が9万人を超えました。宮城県も720人、気仙沼市15人だそうです。大西洋にいる某船頭さんからは『岸壁付近に近づかないで』とご心配のLINEもいただきました(笑)南アフリカから始まったオミクロン変異株ですが、伝播の力は極めて高いものの弱毒性で南アもヨーロッパもアメリカも下火になっているようです。感染爆発した沖縄もピークアウトし始めました。昔大流行したスペイン風邪も最後は弱毒性の風邪みたいなのが大流行して集団免疫を獲得して終わったとの事。重症化しないのであれば集団免疫の道なのかなあ…なんて思ったりしております。実は3月12日、13日に気仙沼つづき会主催で立川志の輔さんの寄席を開催する予定です。それまでに下火になってもらわないと困るー！ちょっと自己中心で楽観論の私(笑)
そのあたり確実に日本にいるよ。寄席見たいなという方はチケットお取りします。メールくださいませ〜(のりこ)

毎日操業お疲れ様です！鶴亀食堂が床下の改装工事の為、2月から3週間ほど休業することになりました。

休業中は、以前働かせて頂いていた唐桑で牡蠣の養殖のバイトをすることになりました。久々の海の仕事なので、体が動くかが心配です(笑)
2月は、今住んでいる鮪立の家を引っ越さないといけなかったりとバタバタですが頑張りたいと思います。

毎日操業おつかれさまです！ついに1年で1番寒い季節がやってきました〜。最近のエマは、近所になったさちををはじめ、唐桑の移住女子たち(みんなママになった！)とその子どもたちと一緒に手巻き寿司をしたり、たこ焼きしたり、お鍋をしたりと、ホームパーティーをして楽しく過ごしています。
そうそう、1月のはじめには唐桑の先端にある御崎神社で『どんと祭』があり、初詣がてら行ってきました。コロナ禍で出店ないかな〜と思いきや、あるわあるわ、たこ焼き、広島風お好み焼き、焼き鳥からわたあめまで、なんだかひさしぶりにお祭りを感じて嬉しい新年でした。御崎神社の「どんと祭」といえば、はじき猿！気仙沼出身ではない乗組員の方はなんのこっちゃと思われるかもしれませんが、唐桑で昔から伝わるいわば伝統工芸品です。桜の木の土台に風車や猿の形をした人形(これが「災いを弾き去る」といって縁起が良いとされています)がついていて、ひとつひとつ全部が職人の手づくり。かつては唐桑で30軒ほどがこの「どんと祭」に向けて1年間かけてつくっていたのですが、今は3人しか作れる人がいません。しかもみなさんご高齢。でも唐桑のおうちの神棚には欠かせない縁起物なのです。ほかにも桜の木を切り出して、船の形にして、そこに七福神を乗せた「大漁宝船」も。こちらは5000円から高いものだと数万円するものもありますが、毎年注文して買い替える人もいます。うちでも買って神棚に飾りました。
今年も無病息災、みなさまの安全航海と大漁を祈念しています！